



社会福祉協議会 だより

心配ごと、悩みごとの
ご相談はご遠慮なくどうぞ
町内 35-1270

<http://reihokushakyo.com>
reihoku.shakyo@ari.bbiq.jp

生活困窮者自立支援制度 (自立相談支援事業) のお知らせ

苓北町社会福祉協議会では、生活困窮者自立支援制度(自立相談支援事業)の相談窓口を開設しています。健康面、生活面、経済面など、どのような内容でもお気軽にご相談ください。

相談員が、さまざまなお相談に対応できる機関や制度、団体などと連携し、皆さんの地域生活のお手伝いをします。来所でのご相談のほか、電話でのご相談やご自宅などへの訪問相談も行いますので、お気軽に問い合わせください。

<主な支援内容>

▶就労準備支援事業

～就労への第一歩です～

「社会との関わりに不安がある」、「周囲の人とのコミュニケーションがうまくとれない」など、すぐに働くことが心配な人に、就労に向けた訓練や就労の機会を提供します。

▶家計相談支援事業

～家計の立て直しについてアドバイスします～

家計状況の課題を整理し、自ら家計を管理していくように、状況に応じた支援計画の作成や貸付のあっせんなどを行います。

▶子どもの学習援助事業

～子どもの明るい未来をサポート～

子どもの学習支援や居場所づくり、進学、高校の中退防止などについて、子どもとその保護者に必要な支援を行います。

▶一時生活支援事業

～宿泊場所や食事等の提供～

決まった住居のない人に、一定期間の宿泊場所と食事などを提供しながら、自立した生活に向けた支援を行います。

▶住居確保給付金

～家賃相当額を支給～

離職などにより住居を失った人、または失うおそれの高い人に、就職に向けた活動を行うことなどを条件として、一定の期間、家賃相当額を支給します。

社会福祉協議会の 自主事業を紹介します

▶心配ごと相談事業

苓北町社会福祉協議会では、「心配ごと相談所」を年間を通じて全6回開設しています。一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

秘密は堅く守られ、相談料は無料です。

▶内容

民生委員児童委員および人権擁護委員、行政相談委員が担当し、生活するうえでのさまざまな問題や困りごとの相談に応じます。

▶今後の開催予定

第4回

・日 時 1月10日㊁ 13時30分～16時
・場 所 富岡公民館

第5回

・日 時 2月9日㊂ 13時30分～16時
・場 所 都呂々公民館

第6回

・日 時 3月8日㊃ 13時30分～16時
・場 所 坂瀬川公民館

苓北町地域包括支援センターから お知らせ

各地区で「通いの場」立ち上げのご意向がありましたら苓北町地域包括支援センターにご相談ください。

「通いの場」とは、地域の人が近くの集会所や公民館などに集まり、体操などのさまざまな活動を行う場を言います。

問 荻北町地域包括支援センター

☎35-1289

こんにちは！

苓北町地域包括支援センターです

今月は脳トレの紹介です。

川畠式 脳 いきいき パズル

Q タテヨコかこんで「10」

足し算をしながら、縦か横に真っすぐ進み、「ぴったり10」になるように数字を囲みましょう。
足し算の途中で曲がることはできません。※答えはページ右下にあります。

1-1

2	4	3	3
8	2	7	4
5	6	1	4
5	2	2	2

1-2

1	9	1	6
4	3	7	3
2	8	2	1
3	1	4	5

川畠 智さん



株式会社Re学代表。熊本県を拠点に、病院・施設で認知症予防や認知症ケアの実践に取り組むと共に、全国各地での講演活動にも力を注ぎ、介護予防の普及啓発活動や研究活動を行っている。

ヒント・ポイント

数字が余らないように縦か横に真っすぐ「10」を作りましょう。落とし穴もあるので、危ないところは後回し。

効果

今回は、計算処理力のアップが期待できる問題を出題しました。認知機能を維持するためにも自分の頭で計算を続けることが重要です。

回答

2	4	3	3
8	2	7	4
5	6	1	4
5	2	2	2

1	9	1	6
4	3	7	3
2	8	2	1
3	1	4	5

【脳いきいき教室】に参加しませんか？

毎週木曜日、13時30分から保健センターで開催しています。月1回は、認知症の専門講師として、株Re学の川畠先生の指導を受けます。認知症予防に関心があり、予防に取り組みたい人は、どなたでも、参加できますので、お気軽にご参加ください。

問い合わせ先

苓北町地域包括支援センター（苓北町保健センター内）

☎35-1289（平日 8:30～17:15）☎35-1270（町内無料）

